

朝晩ぐっと冷え込み、笠原では霜が降りるようになりました。冬の訪れを実感するこの頃です。
おいしいお米や冬の味覚を楽しみながら、どうぞお身体に気を付けてお過ごしください。

今月のお米：松本和広さん「恵つくし（新米）」：屋敷地区

この7月は雨がほとんど降らずに大変心配しました。もう水がなくなるかもという頃に、ちょうどいい雷雨がありほっとしました。稲穂が実りはじめる大事な時期（登熟期）には、適度に夕立がきて水も潤沢だったのでありがたかったです。お盆の頃には田んぼに害虫のカメムシが少し出していたのですが、草刈りのタイミングがよかつたのか、幸い影響はありませんでした。

いろいろ心配な事がありましたが、結果として今年は稻がよく育ち豊作となりました。毎年同じ作業をしているので、何がよかつたのかはっきり分かりませんが、天候が稻にとってはちょうどよかつたのかなと思います。

稻刈りを終えたあとは、来年に向けて田んぼを耕す「秋起こし」をします。稻わらをすき込み、土に空気を入れる作業です。そのあとは茶畠の剪定をして、今シーズンの農作業はひと段落です。最近は秋も暑いので、剪定の時期が遅くなっています。冬は林業の仕事に入ります。本当に一年はあつというまです。

うちの田んぼは笠原の谷の一番奥、標高450mのところにあり、空気も水もきれいです。そんな場所で育てたお米ですので、おいしいと思います。ぜひたくさん食べてください！（松本和広）

※農薬化学肥料不使用をお申込みの方には、宮園福夫さんの「ヒノヒカリ（農薬化学肥料不使用）」をお届けしています。

山村塾の日常を
発信中です！



山村塾
Instagram



こめづくり もりづくり ひとづくり
山村塾

美しい棚田を未来へ

特定非営利活動法人 山村塾

〒834-1222 福岡県八女市黒木町笠原 9836-1

TEL/FAX:0943-42-4300 E mail : info@sansonjuku.com

山村塾 HP <https://sansonjuku.com>

【現在のサポーター数】11月 111名→111名/145.5俵（個人：108、企業/団体：3）

【守られている棚田面積】24,250 m² (145.5俵⇒242.5a 収量 6俵/10aとして)

◆美しい棚田の風景と、それを守り引き継ぐ仕組みづくりを目指して、
お米を食べて応援してくださるサポーターを募集しています。

◆山村塾の活動は皆様からのご寄附で支えられています。



山村塾ホームページ
棚田米新聞も掲載しています